

矢作川 川づくり計画検討会（第1回）

○矢作川川づくり計画検討会

- ・河川整備計画と実施設計の間をつなぐものとして、特に河川利用・環境のあり方を取りまとめたものを『川づくり計画基本設計』として取りまとめる。
- ・それらを取りまとめる上で、矢作川上流圏域の現状と課題を関係者間で共有し、各区間の**目指す姿**、**矢作川らしい川づくり**について、意見交換を行うことを目的とする。

会議概要

- 日時 令和3年3月17日(水) 14時～16時
- 場所 愛知県豊田加茂建設事務所
- 参加者
 - 【メンバー】
 - 矢作川漁業協同組合、(社)クリアウォータープロジェクト、中部電力(株)
 - 愛知県河川課、愛知県豊田加茂建設事務所
 - 豊田市河川課、豊田市矢作川研究所
 - 【オブザーバー】
 - 国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所、愛知県環境局自然環境課

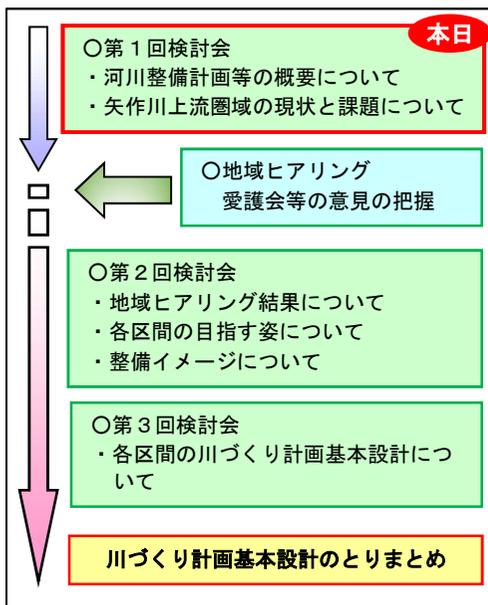
状況写真



<会議状況>

第1回検討会について

「川づくり計画検討の進め方」



「矢作川の現状と課題」

【現状】

- ・矢作川は自然な水際を有しており、加えて多様な環境を創出する取り組みが行われてきた。
- ・地域住民の協力による維持管理が行われている。
- ・貯木場跡などの景観資源、堤外地に公園等があり、河川利用者も多い。

【課題】

- ◆河床の変化とアーモアコート化への対応
- ◆多様な生物が生息・生育できる良好な環境の保全・再生
- ◆竹林の繁茂
- ◆川へのアクセス性の確保
- ◆歴史・文化遺産の保全

「検討会での主な意見」

- ・河川環境の改善に向けて、こうした意見交換の場が設けられたことは評価できる。
- ・対象区間に複数のダムがあり、河床の固定化以外にも流量面で河川環境に影響を与えていることを記載するべきである。
- ・河川環境の改善は、各場所によって異なり、現地でも指導する人材が不足している。
- ・優先実施箇所を選定して、モデル地点としてお手本にするとうい。

「検討事項」

<p>■水際の再生、瀬淵及び砂州の再生の手法について ⇒水制工や分散型帯工の配置、多様な生物の生息のための河床環境改善の手法を検討</p> <p>水制工による変化のある水際 (古岸水辺公園)</p>	<p>■自然的、歴史的な景観に配慮したバラベットのデザイン</p> <p>周辺景観に配慮したバラベットのデザインを検討</p>
<p>■川面が見える空間の整備 ⇒固定公園や景勝地があること、水際の植生の保全などを考慮した河道内樹木・竹林伐採、河道掘削の手法を検討</p> <p>川面が見える伐採(手前)や広葉樹を残した伐採(対岸)(参考写真)</p>	<p>■自然、景観、川へのアクセス、歴史・文化への配慮 ⇒堤防付近に生育する高木を生かした自然、景観の保全、川へのアクセス路、駐車場の配置、遺構の保全などを</p> <p>遺構の保全を検討</p>